

Ⅱ 履修等について

II 履修等について

単位の修得に関しては、定められた進級要件および卒業要件に十分注意して履修計画をたてること。万が一、不注意により進級あるいは卒業ができない事態になった場合の責任は学生自身が負わなければならない。単位修得の責任は自らにあることを自覚すること。

1. 履修手続きの方法

(1) 履修登録

学生は、岡山大学薬学部規程、各学科のカリキュラム等に従い、各年度の授業時間割表およびシラバス等を参照の上、各自で履修計画をたて、履修を希望するすべての授業科目について、履修登録しなければならない。履修登録は、指定期間内に学内のコンピュータ端末の学務システム（WEB）を利用して、各自行うこととする（履修登録のない科目の単位修得は認められない）。履修登録後は、各自の計画どおり正確に履修登録されているかを必ずコンピュータ端末の学務システム（WEB）で確認すること。

なお、教養教育科目の1年間に履修できる単位数の上限は30単位である。ただし、グローバル人材育成特別コースの履修学生は除く。（外部検定試験等により認定された単位数は、これに含まない）

(2) 履修登録内容の変更

履修登録後は履修科目の変更および途中からの履修は原則として認めない。

ただし、登録内容の誤りや上限単位数の超過などで、履修科目の追加または変更を希望する場合は、指定期間内に限り変更することができる。

(3) 履修科目の取消

指定期間内に教務学生担当へ申し出て手続きをすること。期間等詳細については、掲示にて通知する。

2. 単位認定

授業科目の単位認定は、試験、レポートおよび平素の成績を考慮して担当教員が判定する。

授業は、講義、演習、実験または実習のいずれかの方法により、またはこれらの併用により行われる。授業科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成されることを標準とし、授業の方法に応じ、教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して次の基準により単位数が定められている。

授業の種類・方法		授業による学修時間	授業以外の学修時間（予習・復習等）
教養教育科目	講義	15時間	30時間
	演習	15～30時間	30～15時間
	実験	45時間	0時間
	実習	30時間	15時間
専門教育科目	講義	15～30時間	30～15時間
	演習	15～30時間	30～15時間
	実験	30～45時間	15～0時間
	実習	30～45時間	15～0時間
	講義および演習の併用	別途定める。	別途定める。
	卒業論文実習等、指導教員による研究指導に当たる授業	各指導教員の指導に従うものとする。	

通常、講義形式の科目で2単位修得するためには、30時間の授業を受講し、当該授業に関する自学・自習・レポート作成等を行い、さらに試験等に合格することが必要である。

3. 補講

担当教員が十分な講義回数を確保できないと判断した場合は、指定された以外の曜日・時限(休業中・水曜日午後等)に補講を行うことがある。

4. 試験

(1) 受験心得

受験にあたっては、次の各事項に留意してください。

- ① 受験する学生は特別の指示がない限り、試験開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- ② 監督者が指定した座席において受験すること。
- ③ 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- ④ 受験中、机の上に置くことができるのは、学生証、筆記用具及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。また、机の棚板(物入れ)には何も置かないこと。
- ⑤ 携帯電話やスマートフォン、その他音の出る機器は、必ず電源を切っておくこと。
- ⑥ 解答用紙には、所属学部名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
- ⑦ 受験中、利き手でないほうの手は原則として机の上に置くこと。
- ⑧ 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- ⑨ 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- ⑩ 答案用紙は、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。
自己の机の上に置いて退出すると当該授業科目の単位は認定しない。
- ⑪ 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。

なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条により厳重な懲戒処分を行う。

懲戒処分の対象となる行為は次のとおりである。ここで、試験時間中とは、解答の開始から答案の提出までをいう。

- 1) 代理(替玉)受験をしたり、させたりすること。
- 2) 試験時間中に、使用が許可されていないノート及び参考書等並びに電子機器類その他不正行為の手段となり得る物品を参照すること又は使用すること。
- 3) 試験時間中に、言語、動作又は電子機器類等により他人に教示すること又は教示を受けて解答に利用すること。
- 4) 答案を交換すること。
- 5) 試験時間中に、他の学生の答案をのぞき見すること。
- 6) 試験時間中に、使用が許可されたノート及び参考書等並びに電子機器類を貸借すること。
- 7) 所持品、電子機器類、身体、机又は壁等にかき込みをして試験に臨むこと。
- 8) 不正行為を幫助すること。
- 9) 試験時間中に、不正行為の手段となり得る物品を机の棚板(物入れ)に置いておくこと。
- 10) 不正行為を行おうとすること又は監督者の注意若しくは指示に従わないこと。
- 11) その他、試験の公正な実施を妨げる行為をすること。

また、不正行為を行った場合は、当該行為が行われた時点において既に単位が認定されている授業科目を除いて、当該学期に履修している全ての授業科目(学期をまたがって履修する授業科目を含む。)の単位は認定しない。

(2) 追試験について

疾病その他やむを得ない事故により受験の延期を希望する者は、受験延期願（所定様式）を提出し、その理由が認められた場合に限り追試験を受験できる。ただし、追試験実施の有無は、授業担当教員の判断による。

なお、緊急事態により事前に受験延期願が提出できない場合は、事態の回復後速やかにその旨を薬学部教務学生担当（教養教育科目については、学務企画課教育支援グループ）に申し出て指示を受けること。

5. 成績通知・成績評価

成績は学務システム（WEB）で確認すること。成績公開の日時等詳細は、別途掲示にて通知する。

成績評価は、本学部の定める成績評価基準に基づき行う。なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合については、F（不可：0点）とする。

本学ではGPA制度を導入している。GPAとは、Grade Point Averageの略で、成績評価値をあらわす。本学におけるGPA制度の成績の表記とGPの換算は次のとおりである。

成績の評語およびグレード・ポイント（GP）

評語		評点 (整数)	H28年度以降に履修する 授業科目のG P	H27年度までに 修得した 授業科目のG P	基準等
H19 以前 入学者	H20 以降 入学者		GPの算出方法 (評点-55)/10		
優	A+	100点	4.5	4	合格（単位を授与する）
		99点	4.4		
		98点	4.3		
		97点	4.2		
		96点	4.1		
		95点	4.0		
		94点	3.9		
		93点	3.8		
		92点	3.7		
		91点	3.6		
	90点	3.5			
	A	89点	3.4	3	
		88点	3.3		
		87点	3.2		
		86点	3.1		
		85点	3.0		
		84点	2.9		
		83点	2.8		
		82点	2.7		
81点		2.6			
80点	2.5				

良	B	79点	2.4	2	
		78点	2.3		
		77点	2.2		
		76点	2.1		
		75点	2.0		
		74点	1.9		
		73点	1.8		
		72点	1.7		
		71点	1.6		
		70点	1.5		
可	C	69点	1.4	1	
		68点	1.3		
		67点	1.2		
		66点	1.1		
		65点	1.0		
		64点	0.9		
		63点	0.8		
		62点	0.7		
		61点	0.6		
		60点	0.5		
不可	F	0~59点	0	0	不合格 (単位を授与しない)
/	W	付さない	対象外	対象外	履修登録後において、本学が別に定める履修取消期間内に取消を行った授業科目
認定	認定	付さない	対象外	対象外	単位認定等を受けた授業科目
修了	修了	付さない	対象外	対象外	授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたいもの、もしくは一定の到達度をもって評価し単位を授与する場合
/	未修得	付さない	対象外	対象外	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で、不合格(単位を授与しない)とする場合

平成20年度以降入学者については、次の算式によりGPAを算出し、修得済み単位およびその成績評価と併せて通知する。

$$GPA = \frac{\text{(履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のG P)} \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

6. 成績評価基準

岡山大学薬学部規程第17条の規定に基づき、本学部の成績評価基準について、次のとおり定める。

- (1) 教育目標に対する学習者の到達度を見るため成績評価が必要であり、その目標と評価方法を個々の授業ごとにシラバスに明記する。
- (2) 授業科目の単位認定は、試験、レポート、および平素の成績を考慮して担当教員が判定する。
- (3) 授業形態による評価方法の指針は、次のとおりとする。

講義	中間テスト、期末テストまたは小テストを適宜行い、それらの結果、出欠状況、講義中の発言、途中で課せられるレポート等を総合して評価する。
実習（薬学部内）	テスト、レポート、実習態度（実習書に記載の注意点の遵守など）、出欠状況等を総合して評価する。
実習（病院・保険薬局）	レポート、実習態度（実習書に記載の注意点の遵守など）、出欠状況等を総合して評価する。

- (4) 成績評価に関する学生の質問および疑問等には、適切に対応するものとする。

7. 副専攻コースについて

岡山大学では、平成17年度以降の入学生を対象に「副専攻コース」を開設しているが、薬学部では2年次後半以降の日程が非常に過密となるため、副専攻コースの履修を認めない。

「副専攻コース」とは、各学部が編成する教育課程のほか、学生が所属する学部および学科または課程の専攻に係る分野において学習した知識をさらに広い視野のもとで有効に活かせることのできる能力を養うための教育課程を指す。

Ⅲ カリキュラムについて

【薬学科 平成28年度入学者】

1. 進級要件

薬学科では、2年次から3年次、3年次から4年次及び4年次から5年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。

第3年次への進級

2年次末までに、教養教育科目を26単位以上、専門基礎科目を5単位、専門科目のうち必修を35単位以上修得した者とする。

第4年次への進級

3年次末までに、教養教育科目を28単位以上、専門基礎科目を5単位、専門科目のうち必修を66.25単位以上修得した者とする。

*ただし、必修には「薬学系実習(3年次1～3学期, 計9単位)」を含むこと

第5年次への進級

4年次末までに、教養教育科目を28単位以上、専門基礎科目を5単位、専門科目のうち必修を99.5単位以上修得した者とする。

*ただし、必修には「実務実習事前教育Ⅰ～Ⅲ(4年次, 6.25単位)」を含むこと

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員もしくは担任教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後7年経過（休学期間を除く）しても、5年次進級要件を満たす見込みのない者については、退学を勧告する。

(平成24年度以降入学者の年次別修得単位基準)

年次	修得単位
1年次	30単位以上
2年次	上記1に示す薬学科第3年次進級要件単位数
3年次	上記1に示す薬学科第4年次進級要件単位数
4年次	上記1に示す薬学科第5年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分			単位数		
教養教育科目			30		
専門教育科目	専門基礎科目	必修	3.5	5	164
		選択必修	1.5		
	専門科目	必修	15.5		
		選択必修	4		
卒業要件単位			194		

(平成28年度入学者用)

科目区分		授業科目	単位		備考	卒業要件単位			
			必修	選択必修					
導入教育	ガイダンス	薬学ガイダンス	1			2			
		全学ガイダンス科目	1						
	補習教育	高大接続科目					卒業要件外		
知的理解	現代と社会	人文・社会科学系科目	2						
	現代と生命	生命科学系科目	2						
	現代と自然	自然科学系科目	2						
・実践性知	実践知	実践・社会連携系科目							
	芸術知	芸術系科目							
汎用的技能と健康	情報教育	情報処理入門1(情報機器の操作を含む)	1						
		情報リテラシー系科目							
		情報処理入門2(情報機器の操作を含む)							
	情報処理入門3(情報機器の操作を含む)								
	ICT(Information & Communication Technology)系科目								
キャリア教育	キャリア教育・学生支援系科目								
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学							
		スポーツ演習(する・みる・支える)							
言語	英語	英語コミュニケーション1-1	0.5		1年次の1学期から4学期のうち、各自指定された学期に、各学期1科目ずつ履修する。	27			
		英語コミュニケーション1-2	0.5						
		英語コミュニケーション2-1	0.5						
		英語コミュニケーション2-2	0.5						
		英語コミュニケーション3-1	0.5						
		英語コミュニケーション3-2	0.5						
		英語コミュニケーション4-1	0.5						
		英語コミュニケーション4-2	0.5						
		英語コミュニケーション5-1	0.5						
		英語コミュニケーション5-2	0.5						
		英語コミュニケーション6-1	0.5						
		英語コミュニケーション6-2	0.5						
		ブレ上級英語							
		上級英語							
		英語特別演習1							
	英語特別演習2								
	初修外国語	A群	ドイツ語	ドイツ語初級			2		
				ドイツ語中級					
			フランス語	フランス語初級					
				フランス語中級					
			中国語	中国語初級					
				中国語中級					
		韓国語	韓国語初級						
			韓国語中級						
		B群	ロシア語	ロシア語ベーシック					
				ロシア語ステップアップ					
			スペイン語	スペイン語ベーシック					
スペイン語ステップアップ									
イタリア語	イタリア語ベーシック								
	イタリア語ステップアップ								
日本語	日本語(書くA, 読むA, 聞くA, 話すA, 書くB, 読むB, 聞くB, 話すB)			留学生のみ					
高年次教養	高年次教養科目	1			1				
教養教育科目 計					30				

※ 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

科目区分	履修区分	対象年次	授業科目	単位数	卒業要件単位			
専門基礎科目	必修	1	物理化学1 生物化学1 有機化学1 有機化学2	0.75 0.75 1 1	3.5	5		
	選択必修		基礎物理学 基礎生物学	1.5 1.5			1.5	
専門科目	必修	1	分析科学1 分析科学2 分析科学3 分析科学4 物理化学2 物理化学3 無機化学 有機化学3 有機化学4 生薬学1 生薬学2 生物化学2 生物化学3 生物化学4 細胞生物学1 細胞生物学2 人体解剖学 早期体験学習 I	0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 1 1 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 1 1	14.50	155.00		
			2	物理化学4 物理化学5 物理化学6 物理化学7 放射医薬品学1 放射医薬品学2 有機化学5 有機化学6 生薬学3 生薬学4 漢方薬学概論1 漢方薬学概論2 医薬化学1 医薬化学2 生物化学5 生物化学6 分子生物学1 分子生物学2 分子生物学3 分子生物学4 微生物学1 衛生薬学1 衛生薬学2 生理学1 生理学2 薬理学1 薬理学2 薬剤学1 薬剤学2 製剤学1 製剤学2 臨床治療学概論 早期体験学習 II			0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 1 1 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 1.5 1 1 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 0.75 1.5 1	28.00

専門科目	必修	3	分析科学5	0.75	31.25	
			分子構造解析学	0.75		
			微生物学2	1		
			生物統計学1	0.75		
			生物統計学2	0.75		
			免疫学1	0.75		
			免疫学2	0.75		
			免疫学3	0.75		
			衛生薬学3	1		
			衛生薬学4	1		
			衛生薬学5	1		
			衛生薬学6	1		
			薬理学3	0.75		
			薬理学4	0.75		
薬理学5	0.75					
薬理学6	0.75					
薬理学7	0.75					
薬理学8	0.75					
薬物動態学1	0.75					
薬物動態学2	0.75					
生物薬剤学1	0.75					
生物薬剤学2	0.75					
医薬品開発学	0.75					
薬剤師倫理学	0.75					
薬物治療学Ⅰ	1.5					
薬物治療学Ⅱ	1.5					
薬学基本実習	0.5					
薬学基礎実習Ⅰ	1					
薬学基礎実習Ⅱ	2					
薬学基礎実習Ⅲ	2					
衛生薬学実習	1.5					
医療薬学実習	2					
4	医薬品情報学1		0.75	18.25		
	医薬品情報学2	0.75				
	臨床医薬品治療学1	1.5				
	薬事法規・薬事行政1	1				
	薬事法規・薬事行政2	0.5				
	臨床医薬品治療学2	0.75				
	臨床医薬品治療学3	0.75				
	コミュニティーファーマシー	0.75				
	臨床薬物動態学	1.5				
	臨床医薬品治療学4	1.5				
	薬物治療学Ⅲ	1.5				
	救急薬学	0.75				
	実務実習事前教育Ⅰ	0.75				
	実務実習事前教育Ⅱ	1				
実務実習事前教育Ⅲ	4.5					
3~4 卒業研究基礎実習	15	15				
4~6 病院・薬局実務実習	20	20				
5~6 卒業研究実習(卒業制作物を含む。)	28	28				
専門科目	選択必修	1	薬用植物学1	0.75	4	
			薬用植物学2	0.75		
			生物有機化学	0.75		
			薬学セミナー	1		
			S G D入門	0.75		
			3	構造生物学		0.75
				医薬化学3		0.75
				有機化学演習		0.75
				有機合成反応論		0.75
				分子構造解析学演習		0.75
				機能性天然素材学1		0.75
				機能性天然素材学2		0.75
			診断治療学	1.5		
			薬物投与設計序論	0.75		
3~6 漢方処方応用学	0.75					
4	臨床統計学	1				
	臨床病態学	1.5				
5~6	臨床薬学演習Ⅰ	0.75				
	臨床薬学演習Ⅱ	0.75				
	臨床薬学演習Ⅲ	0.75				
	臨床薬学演習Ⅳ	0.75				
自由	6 総合薬学演習	3	/			
	総合薬学Ⅰ	1				
	1~4 総合薬学Ⅱ	1				
			国際連携薬学セミナー	0.5		
専門教育科目卒業要件単位				合計	164	

【薬学科 平成27年度入学者】

1. 進級要件

薬学科では、2年次から3年次、3年次から4年次及び4年次から5年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。

第3年次への進級

2年次末までに、教養教育科目を24単位以上、専門基礎科目を8単位、専門科目のうち必修を45.5単位以上修得した者とする。

第4年次への進級

3年次末までに、教養教育科目を24単位以上、専門基礎科目を8単位、専門科目のうち必修を86単位以上修得した者とする。

*ただし、必修には「薬学系実習(2年次後期, 3年次前期, 計9単位)」を含むこと

第5年次への進級

4年次末までに、教養教育科目を26単位以上、専門基礎科目を8単位、専門科目のうち必修を114単位以上修得した者とする。

*ただし、必修には「実務実習事前教育Ⅰ～Ⅲ(4年次, 8単位)」を含むこと

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員もしくは担任教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後7年経過（休学期間を除く）しても、5年次進級要件を満たす見込みのない者については、退学を勧告する。

(平成24年度以降入学者の年次別修得単位基準)

年次	修得単位
1年次	30単位以上
2年次	上記1に示す薬学科第3年次進級要件単位数
3年次	上記1に示す薬学科第4年次進級要件単位数
4年次	上記1に示す薬学科第5年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分		単位数		
教養教育科目		28		
専門教育科目	専門基礎科目	必修	6	8
		選択必修	2	
	専門科目	必修	156	
		選択必修	4	
卒業要件単位		196		

(平成27年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学					
		するスポーツ演習			4単位まで		
		みるスポーツ演習					
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	総合英語1	1		26		
		総合英語2	1				
		総合英語3	1				
		総合英語4	1				
		総合英語5		4			
		プレ上級英語					
		上級英語					
		英語特別演習1					
		英語特別演習2					
	ドイツ語	ドイツ語初級		4		授業科目群から一種類を選択	
		ドイツ語中級					
	フランス語	フランス語初級					
		フランス語中級					
	中国語	中国語初級					
		中国語中級					
	韓国語	韓国語初級					
		韓国語中級					
	ロシア語	ロシア語初級					
		ロシア語中級					
スペイン語	スペイン語初級						
	スペイン語中級						
イタリア語	イタリア語初級						
	イタリア語中級						
日本語	日本語(書くA, 読むA, 聞くA, 話すA, 書くB, 読むB, 聞くB, 話すB)				留学生用 10単位まで		
計					28		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

科目区分	履修区分	対象年次	授業科目	単位数	卒業要件単位						
専門基礎科目	必修	1	物理化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 生物化学Ⅰ	2 2 2	6	8					
	選択必修	1	基礎物理学 基礎生物学	2 2	2						
専門科目	必修	1	早期体験学習Ⅰ 生物化学Ⅱ 有機化学Ⅱ 物理化学Ⅱ 生薬学Ⅰ 細胞生物学 分析科学Ⅰ 分析科学Ⅱ 無機化学 人体解剖学	1 2 2 2 2 2 2 2 1 1	17	156					
			2	生理学 生物化学Ⅲ 分子生物学Ⅰ 分子生物学Ⅱ 有機化学Ⅲ 生薬学Ⅱ 漢方薬学概論 薬理学Ⅰ 衛生薬学Ⅰ 薬剤学 医薬品構造解析学 物理化学Ⅲ 物理化学Ⅳ 微生物学Ⅰ 医薬化学Ⅰ 有機化学Ⅳ 放射医薬品学 製剤学 臨床治療学概論 早期体験学習Ⅱ	2 2 2 2.5 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1		38.5				
				3	薬学基礎実習Ⅰ 薬学基礎実習Ⅱ 薬学基本実習 薬学基礎実習Ⅲ 衛生薬学実習 医療薬学実習 生物統計学Ⅰ 生物統計学Ⅱ 薬理学Ⅱ 薬理学Ⅲ 薬理学Ⅳ 衛生薬学Ⅱ 衛生薬学Ⅲ 衛生薬学Ⅳ 分析科学Ⅲ 微生物学Ⅱ 免疫学Ⅰ 免疫学Ⅱ 医薬品情報学 薬物治療学Ⅰ 薬物治療学Ⅱ 医薬品開発学 生物薬剤学 薬物動態学 薬剤師倫理学		1 2 0.5 2 1.5 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 1 1.5 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2	40.5			
					3~4		卒業論文基礎実習	6	28		
					4		薬物治療学Ⅲ 実務実習事前教育Ⅰ 実務実習事前教育Ⅱ 実務実習事前教育Ⅲ 臨床医薬品治療学Ⅰ 臨床医薬品治療学Ⅱ 臨床医薬品治療学Ⅲ 救急薬学 薬事法規・薬事行政 コミュニテイファーマシー 臨床薬物動態学	2 2 2 4 2 2 2 1 2 1 1 2		28	
							5	病院・薬局実務実習		20	32
							5~6	卒業論文実習（卒業制作物を含む）		12	

専門科目	選択 必修	1	薬学セミナーⅠ SGD入門 薬用植物学	1 1 2	4	
		2	薬学セミナーⅡ 機能性天然素材学	1 2		
		3	有機化学Ⅴ 医薬化学Ⅱ(構造生物学を含む。) 有機合成反応論 診断治療学	2 2 2 2		
		3~6	漢方処方応用学	1		
		4	臨床統計学 臨床病態学	1 2		
		5~6	臨床薬学演習Ⅰ 臨床薬学演習Ⅱ 臨床薬学演習Ⅲ 臨床薬学演習Ⅳ	1 1 1 1		
		自由	3	薬物投与設計序論		1
	自由	6	総合薬学演習	4		
	専門教育科目卒業要件単位				合計	168

【薬学科 平成24年度～平成26年度入学者】

1. 進級要件

薬学科では、2年次から3年次、3年次から4年次及び4年次から5年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。

第3年次への進級

2年次末までに、教養教育科目を28単位以上、専門基礎科目を12単位、専門科目のうち必修を12単位以上、計52単位以上を修得した者とする。

第4年次への進級

3年次末までに、教養教育科目の卒業要件単位を32単位以上、専門基礎科目を12単位、専門科目のうち必修を59単位以上、計103単位以上を修得した者とする。

*ただし、必修科目には「薬学系実習(2年次後期, 3年次前期, 計9単位)」を含むこと

第5年次への進級

4年次末までに、教養教育科目の卒業要件単位を32単位以上、専門基礎科目を12単位、専門科目のうち必修を104単位以上、計148単位以上を修得した者とする。

*ただし、必修科目には実務実習事前教育Ⅰ～Ⅲ(4年次, 8単位)を含むこと

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員もしくは担任教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後7年経過(休学期間を除く)しても、5年次進級要件を満たす見込みのない者については、退学を勧告する。

(平成24年度以降入学者の年次別修得単位基準)

年次	修得単位
1年次	30単位以上
2年次	上記1に示す薬学科第3年次進級要件単位数
3年次	上記1に示す薬学科第4年次進級要件単位数
4年次	上記1に示す薬学科第5年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分			単位数	
教養教育科目			32	
専門教育科目	専門基礎科目		12	165
	専門科目	必修	149	
		選択	4	
卒業要件単位			197	

(平成24年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから、それぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学					
		スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)			2単位まで		
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)		4	30		
		英語(ネイティブ)		2			
	英語	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)		2		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択	
		プレ上級英語					
		上級英語					
		英語特別演習1					
		英語特別演習2					
		ドイツ語	ドイツ語初級			4	授業科目群から一種類を選択
	ドイツ語中級						
	フランス語	フランス語初級					
		フランス語中級					
	中国語	中国語初級					
		中国語中級					
	韓国語	韓国語初級					
		韓国語中級					
	ロシア語	ロシア語初級					
		ロシア語中級					
	スペイン語	スペイン語初級					
		スペイン語中級					
イタリア語	イタリア語初級						
	イタリア語中級						
日本語	日本語(A, B, C, D)			留学生用 10単位まで			
計					32		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成25年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学					
		するスポーツ演習			4単位まで		
		みるスポーツ演習					
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	総合英語1	1		30		
		総合英語2	1				
		総合英語3	1				
		総合英語4	1				
		総合英語5		4			
		プレ上級英語					
		上級英語					
		英語特別演習1					
		英語特別演習2					
	ドイツ語	ドイツ語初級		4		授業科目群から一種類を選択	
		ドイツ語中級					
	フランス語	フランス語初級					
		フランス語中級					
	中国語	中国語初級					
		中国語中級					
	韓国語	韓国語初級					
		韓国語中級					
	ロシア語	ロシア語初級					
		ロシア語中級					
スペイン語	スペイン語初級						
	スペイン語中級						
イタリア語	イタリア語初級						
	イタリア語中級						
日本語	日本語(A, B, C, D)				留学生用 10単位まで		
計					32		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成26年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学					
		するスポーツ演習			4単位まで		
		みるスポーツ演習					
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	総合英語1	1		30		
		総合英語2	1				
		総合英語3	1				
		総合英語4	1				
		総合英語5		4			
		プレ上級英語					
		上級英語					
		英語特別演習1					
		英語特別演習2					
	ドイツ語	ドイツ語初級		4		授業科目群から一種類を選択	
		ドイツ語中級					
	フランス語	フランス語初級					
		フランス語中級					
	中国語	中国語初級					
		中国語中級					
	韓国語	韓国語初級					
		韓国語中級					
	ロシア語	ロシア語初級					
		ロシア語中級					
	スペイン語	スペイン語初級					
スペイン語中級							
イタリア語	イタリア語初級						
	イタリア語中級						
日本語	日本語(書くA, 読むA, 聞くA, 話すA, 書くB, 読むB, 聞くB, 話すB)				留学生用 10単位まで		
計					32		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

専門科目	選択	1	薬学セミナーⅠ SGD入門 薬用植物学	1 1 2	4		
		2	薬学セミナーⅡ ケミカル・バイオハザード学 分子細胞生物学Ⅱ 機能性天然素材学	1 1 2 2			
		2~3	病理学	2			
		3	有機化学Ⅴ 毒性学 癌の生物学 医薬化学Ⅱ(構造生物学を含む。) 有機合成反応論 医薬品開発学	2 1 2 2 2 1			
		3~4	卒業論文基礎実習	6			
		3~6	漢方処方応用学	1			
		4	臨床薬物動態学	2			
		5~6	臨床薬学演習Ⅰ 臨床薬学演習Ⅱ 臨床薬学演習Ⅲ 臨床薬学演習Ⅳ	1 1 1 1			
		自由	1	分子構造化学入門		1	/
			2	病気を知る		2	
	3		薬物投与設計序論 薬学研究のフロンティア	1 2			
	6		総合薬学演習	4			
	専門教育科目卒業要件単位				合計	165	

専門科目	選択	1	薬学セミナー I	1	4
			SGD入門	1	
			薬用植物学	2	
		2	薬学セミナー II	1	
			ケミカル・バイオハザード学	1	
			分子細胞生物学 II	2	
			機能性天然素材学	2	
		3	有機化学 V	2	
			毒性学	1	
			癌の生物学	2	
	医薬化学 II (構造生物学を含む。)		2		
	有機合成反応論		2		
	医薬品開発学		1		
	3~4	卒業論文基礎実習	6		
	3~6	漢方処方応用学	1		
4	臨床薬物動態学	2			
5~6	臨床薬学演習 I	1			
	臨床薬学演習 II	1			
	臨床薬学演習 III	1			
	臨床薬学演習 IV	1			
自由	1	分子構造化学入門 (H25入学者)	1		
	2	病気を知る	2		
	3	薬学研究のフロンティア	2		
		薬物投与設計序論	1		
6	総合薬学演習	4			
専門教育科目卒業要件単位				合計	165

【薬学科 平成23年度以前入学者】

1. 進級要件

薬学科では、2年次から3年次、3年次から4年次及び4年次から5年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。ただし、履修要件を定めていない科目については、留年しなかった場合の該当年次の開講科目を履修することができる。

第3年次への進級(基礎薬学系実習Ⅰ～Ⅲ, 衛生薬学系実習, 医療薬学系実習Ⅰ～Ⅲ 履修要件)

2年次末までに、教養教育科目を26単位以上、専門基礎科目を8単位以上、専門科目のうち選択Ⅰを30単位以上、計64単位以上を修得した者とする。

第4年次への進級(実務実習事前教育1～5 履修要件)

3年次末までに、教養教育科目の卒業要件単位を30単位以上、専門基礎科目を10単位以上、専門科目のうち必修を9単位、選択Ⅰを50単位以上、選択Ⅱを5単位以上、計104単位以上を修得した者とする。

第5年次への進級(卒業論文実習・病院実務実習・薬局実務実習 履修要件)

4年次末までに、教養教育科目の卒業要件単位を30単位以上、専門基礎科目を10単位以上、専門科目のうち必修を17単位、選択Ⅰを78単位以上、選択Ⅱを17単位以上、計152単位以上を修得した者とする。

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員もしくは担任教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後7年経過（休学期間を除く）しても、卒業論文実習の履修資格を得られる見込みのない者については、退学を勧告する。

〈平成23年度以前入学者の年次別修得単位基準〉

年次	修得単位
1年次	30単位以上
2年次	上記1に示す薬学科第3年次進級要件単位数
3年次	上記1に示す薬学科第4年次進級要件単位数
4年次	上記1に示す薬学科第5年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分		単位数		
教養教育科目		30		
専門教育科目	専門基礎科目	10	167	
	専門科目	必修		49
		選択Ⅰ		82
		選択Ⅱ		26
卒業要件単位		197		

(平成19年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位	
		必修	選択必修			
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2	
主 題 科 目	学問の世界	「学問の世界」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目				
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目				
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目				
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目				
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学				
		スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)			2単位まで	
情報科学	情報処理入門			2単位履修することが望ましい		
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)		4	28	
		英語(ネイティブ)		2		
	英語	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)		2		英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択
		上級英語				
		英語特別演習1				
		英語特別演習2				
	ドイツ語	ドイツ語初級		4		授業科目群から一種類を選択
		ドイツ語中級				
	フランス語	フランス語初級				
		フランス語中級				
	中国語	中国語初級				
		中国語中級				
	韓国語	韓国語初級				
		韓国語中級				
ロシア語	ロシア語初級					
	ロシア語中級					
スペイン語	スペイン語初級					
	スペイン語中級					
イタリア語	イタリア語初級					
	イタリア語中級					
日本語	日本語(A, B, C, D)			留学生用 10単位まで		
計					30	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成20年度～平成22年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位	
		必修	選択必修			
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2	
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目				
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目				
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目				
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目				
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学				
		スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)			2単位まで	
情報科学	情報処理入門			2単位履修することが望ましい		
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)		4	28	
		英語(ネイティブ)		2		
	英語	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)		2		英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択
		上級英語				
		英語特別演習1				
		英語特別演習2				
	ドイツ語	ドイツ語初級		4		授業科目群から一種類を選択
		ドイツ語中級				
	フランス語	フランス語初級				
		フランス語中級				
	中国語	中国語初級				
		中国語中級				
	韓国語	韓国語初級				
		韓国語中級				
ロシア語	ロシア語初級					
	ロシア語中級					
スペイン語	スペイン語初級					
	スペイン語中級					
イタリア語	イタリア語初級					
	イタリア語中級					
日本語	日本語(A, B, C, D)			留学生用 10単位まで		
計					30	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成23年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位	
		必修	選択必修			
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2	
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目				
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目				
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目				
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目				
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学				
		スポーツ実習 (A,B,C,D,E,F)			2単位まで	
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい		
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)		4	28	
		英語(ネイティブ)		2		
	英語	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)		2		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択
		上級英語				
		英語特別演習1				
		英語特別演習2				
	ドイツ語	ドイツ語初級		4		授業科目群から一種類を選択
		ドイツ語中級				
	フランス語	フランス語初級				
		フランス語中級				
	中国語	中国語初級				
		中国語中級				
	韓国語	韓国語初級				
		韓国語中級				
ロシア語	ロシア語初級					
	ロシア語中級					
スペイン語	スペイン語初級					
	スペイン語中級					
イタリア語	イタリア語初級					
	イタリア語中級					
日本語	日本語(A, B, C, D)			留学生用 10単位まで		
計					30	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

科目区分	履修区分	対象年次	授業科目	単位数	卒業要件単位				
専門基礎科目	選択必修	1	物理化学 有機化学Ⅰ 生物化学Ⅰ 生理学 生物化学Ⅱ	2 2 2 2 2	10				
		2	生物化学Ⅲ 生物統計学	2 2					
専門科目	必修	3	基礎薬学系実習Ⅰ 基礎薬学系実習Ⅱ 基礎薬学系実習Ⅲ	1 2 1	9	49			
			医療薬学系実習Ⅰ 医療薬学系実習Ⅱ 衛生薬学系実習 医療薬学系実習Ⅲ	1 1 2 1					
			4	実務実習事前教育1 実務実習事前教育2 実務実習事前教育3 実務実習事前教育4 実務実習事前教育5			1 2 2 2 1	8	
		5	病院実務実習 薬局実務実習	10 10	20				
		5~6	卒業論文実習(卒業制作物を含む。)	12	12				
		選択Ⅰ	1	無機薬化学 薬品物理化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 生薬学Ⅰ 微生物学	1 2 2 2 2		82		
	2			薬品物理化学Ⅱ 薬品分析学Ⅰ 有機化学Ⅲ 生薬学Ⅱ 生物化学Ⅳ 薬剤学 薬効解析学Ⅰ 感染症治療学 人体解剖学 生物物理化学 薬品分析学Ⅱ 生物化学Ⅴ 生体防御機能学Ⅰ 医薬品構造解析学 製剤学 薬効解析学Ⅱ 衛生薬学Ⅰ 有機反応化学 漢方処方学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 1 1				
				3	生体防御機能学Ⅱ 生物薬剤学 薬事法規 薬効解析学Ⅲ 医薬化学Ⅰ 衛生薬学Ⅱ 衛生薬学Ⅲ 衛生薬学Ⅳ				1 2 1 2 2 2 2 2
					4				薬物治療学Ⅰ 医薬品情報学 臨床医薬品治療学Ⅰ 細胞療法・診断学 調剤学 コミュニティファーマシー 薬物動態学 臨床病態学Ⅰ 薬物治療学Ⅱ 病院薬学 臨床医薬品治療学Ⅱ 臨床薬学 診断治療学 臨床薬物動態学 臨床病態学Ⅱ

専門科目	選択Ⅱ	1	薬用植物学 医療薬学入門	2 1	26			
		2	放射薬品学・放射線概論 コンピュータ化学 癌の生物学	2 2 2				
		2~3	病理学 内分泌化学 薬品製造工学	2 2 2				
		3	医薬品開発学 薬品分析学Ⅲ 複素環化学 機能性天然素材学 ゲノム創薬学 医薬化学Ⅱ 薬事行政 バイオ技術演習 国際医療保健学 毒性学	1 2 2 2 1 2 1 1 2 1				
		4	総合薬学演習Ⅰ 有機化学演習Ⅰ 総合薬学演習Ⅱ	1 1 1				
		5~6	臨床薬学演習Ⅰ 臨床薬学演習Ⅱ 臨床薬学演習Ⅲ 臨床薬学演習Ⅳ	1 1 1 1				
		6	総合薬学演習A 有機化学演習Ⅱ 総合薬学演習B	2 1 2				
		卒業要件外	1	薬学セミナーⅠ SGD入門 分子構造化学入門 基礎遺伝学 有機化学基礎演習Ⅰ		1 1 1 2 1		
			2	薬学セミナーⅡ ケミカル・バイオハザード学 有機化学基礎演習Ⅱ 病気を知る		1 1 1 2		
			3	薬学研究のフロンティア 薬物投与設計序論 薬物治療投与設計序論 薬剤師倫理学 薬学応用実習 分子細胞生物学 癌薬物治療学 バイオインフォマティクス入門		2 1 1 1 2 2 1 1		
	3~6		漢方処方応用学	1				
	4		薬品分析学・薬品物理化学演習 卒業研究準備実習	1 4				
	5・6		医薬品治療学Ⅰ 医薬品治療学Ⅱ	2 2				
	専門教育科目卒業要件単位				合計	167		

【創薬科学科 平成28年度入学者】

1. 進級要件

創薬科学科では、2年次から3年次及び3年次から4年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。

第3年次への進級

2年次末までに、教養教育科目を 26 単位以上、専門基礎科目を 5 単位、専門科目のうち選択必修を 32.75 単位以上修得した者とする。

第4年次への進級

3年次末までに、教養教育科目を 28 単位以上、専門基礎科目を 5 単位、専門科目のうち必修を 10.5 単位、選択必修を 50 単位以上修得した者とする。

*ただし、必修には「薬学系実習(3年次1～3学期, 計9単位)」を含むこと

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員もしくは担任教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後5年経過（休学期間を除く）しても、4年次進級要件を満たす見込みのない者については、退学を勧告する。

(平成 24 年度以降入学者の年次別修得単位基準)

年 次	修得単位
1 年 次	30 単位以上
2 年 次	上記 1 に示す創薬科学科第 3 年次進級要件単位数
3 年 次	上記 1 に示す創薬科学科第 4 年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科 目 区 分			単 位 数		
教 養 教 育 科 目			30		
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	必 修	3.5	5	97
		選 択 必 修	1.5		
	専 門 科 目	必 修	34.5		
		選 択 必 修	52 以上	57.5	
選 択					
卒 業 要 件 単 位			127		

※専門科目選択必修については、分野ごとの要件単位数も必ず確認すること。

(平成28年度入学者用)

科目区分		授業科目	単位		備考	卒業要件単位	
			必修	選択必修			
導入教育	ガイダンス	薬学ガイダンス	1			2	
		全学ガイダンス科目	1				
	補習教育	高大接続科目					卒業要件外
知的理解	現代と社会	人文・社会科学系科目	2				
	現代と生命	生命科学系科目	2				
	現代と自然	自然科学系科目	2				
・実践性知	実践知	実践・社会連携系科目					
	芸術知	芸術系科目					
汎用的技能と健康	情報教育	情報リテラシー系科目	1				
		情報処理入門1(情報機器の操作を含む)					
		情報処理入門2(情報機器の操作を含む)					
	情報処理入門3(情報機器の操作を含む)						
	ICT(Information & Communication Technology)系科目						
キャリア教育	キャリア教育・学生支援系科目						
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学						
	スポーツ演習(する・みる・支える)						
言語	英語	英語コミュニケーション1-1	0.5		1年次の1学期から4学期のうち、各自指定された学期に、各学期1科目ずつ履修する。	27	
		英語コミュニケーション1-2	0.5				
		英語コミュニケーション2-1	0.5				
		英語コミュニケーション2-2	0.5				
		英語コミュニケーション3-1	0.5				
		英語コミュニケーション3-2	0.5				
		英語コミュニケーション4-1	0.5				
		英語コミュニケーション4-2	0.5				
		英語コミュニケーション5-1	0.5				
		英語コミュニケーション5-2	0.5				
		英語コミュニケーション6-1	0.5				
		英語コミュニケーション6-2	0.5				
		ブレ上級英語					
		上級英語					
	英語特別演習1						
	英語特別演習2						
	初修外国語	A群	ドイツ語	ドイツ語初級			2
				ドイツ語中級			
			フランス語	フランス語初級			
				フランス語中級			
中国語		中国語初級					
		中国語中級					
韓国語		韓国語初級					
		韓国語中級					
B群		ロシア語	ロシア語ベーシック				
			ロシア語ステップアップ				
		スペイン語	スペイン語ベーシック				
			スペイン語ステップアップ				
イタリア語	イタリア語ベーシック						
	イタリア語ステップアップ						
日本語	日本語(書くA, 読むA, 聞くA, 話すA, 書くB, 読むB, 聞くB, 話すB)			留学生のみ			
高年次教養	高年次教養科目	1			1		
教養教育科目 計					30		

※ 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

科目区分	履修区分	対象年次	授業科目	単位数	卒業要件単位			
専門基礎科目	必修	1	物理化学1	0.75	3.5	5	39.5	
			生物化学1	0.75				
			有機化学1	1				
			有機化学2	1				
	選択必修		基礎物理学	1.5	1.5			
			基礎生物学	1.5				
専門科目	必修	3	薬学基本実習	0.5	9	52.00 以上		57.5
			薬学基礎実習Ⅰ	1				
			薬学基礎実習Ⅱ	2				
			薬学基礎実習Ⅲ	2				
			衛生薬学実習	1.5				
			医療薬学実習	2				
			卒業研究基礎実習	1.5			1.5	
	4	卒業研究実習(卒業制作物を含む。)	24	24				
	選択必修	1		物理化学2	0.75		1.5	
				物理化学3	0.75			
				2	物理化学4	0.75		
					物理化学5	0.75		
		物理化学6	0.75					
		物理化学7	0.75					
		1		分析科学1	0.75	1.5		
				分析科学2	0.75			
				分析科学3	0.75			
				分析科学4	0.75			
		2		放射医薬品学1	0.75			
				放射医薬品学2	0.75			
		3		分析科学5	0.75			
		1		無機化学	0.75	1.5		
				有機化学3	1			
				有機化学4	1			
				生物有機化学	0.75			
		2		有機化学5	1			
				有機化学6	1			
医薬化学1				0.75				
医薬化学2	0.75							
3		有機合成反応論	0.75					
		分子構造解析学	0.75					
1		植物資源学1	0.75	1.5				
		植物資源学2	0.75					
		生薬学1	0.75					
		生薬学2	0.75					
2		生薬学3	0.75					
		生薬学4	0.75					
		漢方薬学概論1	0.75					
		漢方薬学概論2	0.75					
3		機能性天然素材学1	0.75					
		機能性天然素材学2	0.75					

専門科目	選択必修	1	細胞生物学1	0.75	3	
			細胞生物学2	0.75		
			生物化学2	0.75		
			生物化学3	0.75		
			生物化学4	0.75		
		2	生物化学5	0.75		
			生物化学6	0.75		
			分子生物学1	0.75		
			分子生物学2	0.75		
			分子生物学3	1		
			分子生物学4	1		
		3	微生物学1	1.5		
			微生物学2	1		
	免疫学1		0.75			
	免疫学2		0.75			
	免疫学3		0.75			
	2	生物統計学1	0.75			
		生物統計学2	0.75			
	3	2	衛生薬学1	1	2	
衛生薬学2			1			
3		衛生薬学3	1			
		衛生薬学4	1			
		衛生薬学5	1			
		衛生薬学6	1			
2	生理学1	0.75	3			
	生理学2	0.75				
	薬理学1	0.75				
	薬理学2	0.75				
3	3	薬理学3	0.75			
		薬理学4	0.75			
		薬理学5	0.75			
		薬理学6	0.75			
		薬理学7	0.75			
		薬理学8	0.75			
		2	2	薬剤学1	0.75	3
				薬剤学2	0.75	
製剤学1	0.75					
製剤学2	0.75					
3	3	薬物動態学1	0.75			
		薬物動態学2	0.75			
		生物薬剤学1	0.75			
		生物薬剤学2	0.75			
選択	1	薬学セミナー	1			
		コミュニケーション入門	0.75			
		人体解剖学	1			
	3	3	構造生物学	0.75		
			医薬化学3	0.75		
			有機化学演習	0.75		
			分子構造解析学演習	0.75		
			医薬品開発学	0.75		
			薬物治療学Ⅰ	1.5		
			薬物治療学Ⅱ	1.5		
薬物投与設計序論	0.75					
3~4	漢方処方応用学	0.75				
4	4	医薬品情報学1	0.75			
		医薬品情報学2	0.75			
		薬事法規・薬事行政1	1			
		薬事法規・薬事行政2	0.5			
		臨床統計学	1			
		臨床医薬品治療学1	1.5			
		救急薬学	0.75			
自由	1~4	総合薬学Ⅰ	1			
		総合薬学Ⅱ	1			
		国際連携薬学セミナー	0.5			
専門教育科目卒業要件単位				合計	97	

【創薬科学科 平成27年度入学者】

1. 進級要件

創薬科学科では、2年次から3年次及び3年次から4年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。

第3年次への進級

2年次末までに、教養教育科目を24単位以上、専門基礎科目を8単位、専門科目のうち選択必修を42単位以上修得した者とする。

第4年次への進級

3年次末までに、教養教育科目を26単位以上、専門基礎科目を8単位、専門科目のうち必修を11単位、選択必修を63単位以上修得した者とする。

*ただし、必修には「薬学系実習(2年次後期, 3年次前期, 計9単位)」を含むこと

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員もしくは担任教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後5年経過（休学期間を除く）しても、4年次進級要件を満たす見込みのない者については、退学を勧告する。

(平成24年度以降入学者の年次別修得単位基準)

年次	修得単位
1年次	30単位以上
2年次	上記1に示す創薬科学科第3年次進級要件単位数
3年次	上記1に示す創薬科学科第4年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分			単位数		
教養教育科目			28		
専門教育科目	専門基礎科目	必修	6	8	108
		選択必修	2		
	専門科目	必修	23		
		選択必修	73以上	77	
		選択			
卒業要件単位			136		

(平成27年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学					
		するスポーツ演習			4単位まで		
		みるスポーツ演習					
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	総合英語1	1		26		
		総合英語2	1				
		総合英語3	1				
		総合英語4	1				
		総合英語5		4			
		プレ上級英語					
		上級英語					
		英語特別演習1					
		英語特別演習2					
	ドイツ語	ドイツ語初級		4		授業科目群から一種類を選択	
		ドイツ語中級					
	フランス語	フランス語初級					
		フランス語中級					
	中国語	中国語初級					
		中国語中級					
	韓国語	韓国語初級					
		韓国語中級					
	ロシア語	ロシア語初級					
		ロシア語中級					
スペイン語	スペイン語初級						
	スペイン語中級						
イタリア語	イタリア語初級						
	イタリア語中級						
日本語	日本語(書くA, 読むA, 聞くA, 話すA, 書くB, 読むB, 聞くB, 話すB)				留学生用 10単位まで		
計					28		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

科目区分	履修区分	対象年次	授業科目	単位数	卒業要件単位	
専門基礎科目	必修	1	物理化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 生物化学Ⅰ	2 2 2	6	8
	選択必修	1	基礎物理学 基礎生物学	2 2	2	
専門科目	必修	3	薬学基礎実習Ⅰ	1	9	23
			薬学基礎実習Ⅱ	2		
			薬学基本実習	0.5		
			薬学基礎実習Ⅲ	2		
	衛生薬学実習		1.5			
	医療薬学実習		2			
	卒業論文基礎実習	2	2			
	4	卒業論文実習(卒業制作物を含む)	12	12		
	選択必修	1	生物化学Ⅱ	2	73 以上	
			有機化学Ⅱ	2		
			物理化学Ⅱ	2		
			生薬学Ⅰ	2		
			細胞生物学	2		
分析科学Ⅰ			2			
分析科学Ⅱ			2			
無機化学			1			
植物資源学		2				
2		生理学	2			
	生物化学Ⅲ	2				
	分子生物学Ⅰ	2				
	分子生物学Ⅱ	2.5				
	有機化学Ⅲ	2				
	生薬学Ⅱ	2				
漢方薬学概論	2					
機能性天然素材学	2					
薬理学Ⅰ	2					
3	衛生薬学Ⅰ	2				
	薬剤学	2				
	医薬品構造解析学	2				
	物理化学Ⅲ	1				
	物理化学Ⅳ	2				
	微生物学Ⅰ	2				
	医薬化学Ⅰ	2				
	有機化学Ⅳ	2				
放射医薬品学	2					
製剤学	2					
3	生物統計学Ⅰ	1	77			
	生物統計学Ⅱ	1				
	有機化学Ⅴ	2				
	薬理学Ⅱ	2				
	薬理学Ⅲ	2				
	薬理学Ⅳ	2				
	衛生薬学Ⅱ	2				
	衛生薬学Ⅲ	2				
	衛生薬学Ⅳ	2				
	分析科学Ⅲ	1				
	微生物学Ⅱ	1.5				
	免疫学Ⅰ	2				
	免疫学Ⅱ	1				
	医薬化学Ⅱ(構造生物学を含む。)	2				
	有機合成反応論	2				
医薬品開発学	1					
生物薬剤学	2					
薬物動態学	2					

専門科目	選択	1	薬学セミナー I 人体解剖学 コミュニケーション入門	1 1 1	
		2	薬学セミナー II 臨床治療学概論	1 2	
		3	医薬品情報学 薬物治療学 I 薬物治療学 II	2 2 2	
		3~4	漢方処方応用学	1	
		4	臨床医薬品治療学 I 薬事法規・薬事行政 臨床統計学	2 2 1	
			自由	3	
	専門教育科目卒業要件単位				

【創薬科学科 平成24年度～平成26年度入学者】

1. 進級要件

創薬科学科では、2年次から3年次及び3年次から4年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。

第3年次への進級

2年次末までに、教養教育科目を28単位以上、専門基礎科目を12単位、専門科目のうち選択必修を13単位以上、計53単位以上を修得した者とする。

第4年次への進級

3年次末までに、教養教育科目の卒業要件単位を32単位以上、専門基礎科目を12単位、専門科目のうち必修を9単位、選択必修を53単位以上、計106単位以上を修得した者とする。

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員もしくは担任教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後5年経過（休学期間を除く）しても、4年次進級要件を満たす見込みのない者については、退学を勧告する。

〈平成24年度以降入学者の年次別修得単位基準〉

年次	修得単位
1年次	30単位以上
2年次	上記1に示す創薬科学科第3年次進級要件単位数
3年次	上記1に示す創薬科学科第4年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分			単位数	
教養教育科目			32	
専門教育科目	専門基礎科目		12	
	専門科目	必修	21	
		選択必修	71以上	73
		選択		
卒業要件単位			138	

(平成24年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから、それぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学					
		スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)			2単位まで		
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)		4	30		
		英語(ネイティブ)		2			
	英語	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)		2		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択	
		プレ上級英語					
		上級英語					
		英語特別演習1					
		英語特別演習2					
		ドイツ語	ドイツ語初級			4	授業科目群から一種類を選択
	ドイツ語中級						
	フランス語	フランス語初級					
		フランス語中級					
	中国語	中国語初級					
		中国語中級					
	韓国語	韓国語初級					
		韓国語中級					
	ロシア語	ロシア語初級					
		ロシア語中級					
	スペイン語	スペイン語初級					
		スペイン語中級					
イタリア語	イタリア語初級						
	イタリア語中級						
日本語	日本語(A, B, C, D)			留学生用 10単位まで			
計					32		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成25年度入学者用)

科目区分		授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位		
			必修	選択必修				
ガイダンス科目		薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		8	開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目						
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目						
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目						
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目						
	自然科学	自然科学系科目			※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学				4単位まで		
		するスポーツ演習						
		みるスポーツ演習						
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)				2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	総合英語1	1			30		
		総合英語2	1					
		総合英語3	1					
		総合英語4	1					
		総合英語5		4				
		プレ上級英語						
		上級英語						
		英語特別演習1						
		英語特別演習2						
	ドイツ語	ドイツ語初級		4	授業科目群から一種類を選択			
		ドイツ語中級						
	フランス語	フランス語初級						
		フランス語中級						
	中国語	中国語初級						
		中国語中級						
	韓国語	韓国語初級						
		韓国語中級						
	ロシア語	ロシア語初級						
		ロシア語中級						
スペイン語	スペイン語初級							
	スペイン語中級							
イタリア語	イタリア語初級							
	イタリア語中級							
日本語	日本語(A, B, C, D)					留学生用 10単位まで		
計						32		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成26年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学		4単位まで			
		するスポーツ演習					
		みるスポーツ演習					
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)		2単位履修することが望ましい				
外 国 語 科 目	英語	総合英語1	1		30		
		総合英語2	1				
		総合英語3	1				
		総合英語4	1				
		総合英語5		4			
		プレ上級英語					
		上級英語					
		英語特別演習1					
		英語特別演習2					
	ドイツ語	ドイツ語初級	4	授業科目群から一種類を選択			
		ドイツ語中級					
	フランス語	フランス語初級					
		フランス語中級					
	中国語	中国語初級					
		中国語中級					
	韓国語	韓国語初級					
		韓国語中級					
	ロシア語	ロシア語初級					
		ロシア語中級					
	スペイン語	スペイン語初級					
スペイン語中級							
イタリア語	イタリア語初級						
	イタリア語中級						
日本語	日本語(書くA, 読むA, 聞くA, 話すA, 書くB, 読むB, 聞くB, 話すB)				留学生用 10単位まで		
計					32		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

科目区分	履修区分	対象年次	授業科目	単位数	卒業要件単位		
専門基礎科目	必修	1	物理化学Ⅰ	2	12		
			有機化学Ⅰ	2			
			生物化学Ⅰ	2			
			生物化学Ⅱ	2			
			有機化学Ⅱ	2			
			物理化学Ⅱ	2			
専門科目	必修	2	基礎薬学系実習Ⅰ	1	4	21	
			基礎薬学系実習Ⅱ	2			
			基礎薬学系実習Ⅲ	1			
		3	衛生薬学系実習	2	5		
			医療薬学実習Ⅰ	1			
			医療薬学実習Ⅱ	1			
			医療薬学実習Ⅲ	1			
		4	卒業論文実習(卒業制作物を含む)	12	12		
		選択必修	1	基礎生物学Ⅰ	2		71 以上
				基礎生物学Ⅱ	2		
	生薬学Ⅰ			2			
	分析科学Ⅰ			2			
	分析科学Ⅱ			2			
	無機化学			1			
	植物資源学			2			
	2		生理学	2			
			生物化学Ⅲ	2			
			分子細胞生物学Ⅰ	2			
			分子細胞生物学Ⅱ	2			
		生物統計学	2				
		有機化学Ⅲ	2				
生薬学Ⅱ		2					
機能性天然素材学		2					
薬理学Ⅰ		2					
衛生薬学Ⅰ		2					
生物薬剤学		2					
薬剤学		2					
医薬品構造解析学		2					
物理化学Ⅲ		2					
物理化学Ⅳ	2						
微生物学	2						
生物化学Ⅳ	2						
有機化学Ⅳ	2						
放射医薬品学	2						
製剤学	2						
3	分子細胞生物学Ⅲ	2	73				
	有機化学Ⅴ	2					
	漢方薬学概論	2					
	薬理学Ⅱ	2					
	薬理学Ⅲ	2					
	薬理学Ⅳ	2					
	衛生薬学Ⅱ	2					
	衛生薬学Ⅲ	2					
	分析科学Ⅲ	2					
	化学療法学	2					
	免疫学Ⅰ	2					
	免疫学Ⅱ	2					
	医薬化学Ⅰ	2					
	医薬化学Ⅱ(構造生物学を含む。)	2					
有機合成反応論	2						
医薬品開発学	1						

専門科目	選択	1	薬学セミナーⅠ コミュニケーション入門	1 1	
		2	薬学セミナーⅡ ケミカル・バイオハザード学 人体解剖学	1 1 2	
		2~3	病理学	2	
		3	衛生薬学Ⅳ	2	
			毒性学	1	
			癌の生物学	2	
			医薬品情報学	2	
			薬物治療学Ⅰ	2	
		3~4	薬物治療学Ⅱ	2	
			卒業論文基礎実習	2	
	3~4	漢方処方応用学	1		
	4	臨床医薬品治療学Ⅰ	2		
		薬事法規・薬事行政	2		
	自由	1	分子構造化学入門	1	
2		病気を知る	2		
3		薬物投与設計序論	1		
	薬物研究のフロンティア	2			
専門教育科目卒業要件単位				合計	106

科目区分	履修区分	対象年次	授業科目	単位数	卒業要件単位				
専門基礎科目	必修	1	物理化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 生物化学Ⅰ 生物化学Ⅱ 有機化学Ⅱ 物理化学Ⅱ	2 2 2 2 2 2	12				
専門科目	必修	2	薬学基礎実習Ⅰ 薬学基礎実習Ⅱ	1 2	3	21			
		2~3	薬学基本実習	0.5	6				
		3	薬学基礎実習Ⅲ 衛生薬学実習 医療薬学実習	2 1.5 2					
		4	卒業論文実習(卒業制作物を含む)	12	12				
	選択必修	1	基礎生物学Ⅰ 基礎生物学Ⅱ 生薬学Ⅰ 分析科学Ⅰ 分析科学Ⅱ 無機化学 植物資源学	2 2 2 2 2 1 2	71 以上	73			
				2			生理学 生物化学Ⅲ 分子細胞生物学Ⅰ 分子細胞生物学Ⅱ 有機化学Ⅲ 生薬学Ⅱ 機能性天然素材学 薬理学Ⅰ 衛生薬学Ⅰ 生物薬剤学 薬剤学 医薬品構造解析学 物理化学Ⅲ 物理化学Ⅳ 微生物学 生物化学Ⅳ 有機化学Ⅳ 放射医薬品学 製剤学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
		3						分子細胞生物学Ⅲ 生物統計学 有機化学Ⅴ 漢方薬学概論 薬理学Ⅱ 薬理学Ⅲ 薬理学Ⅳ 衛生薬学Ⅱ 衛生薬学Ⅲ 分析科学Ⅲ 化学療法学 免疫学Ⅰ 免疫学Ⅱ 医薬化学Ⅰ 医薬化学Ⅱ(構造生物学を含む。) 有機合成反応論 医薬品開発学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1

専門科目	選択	1	薬学セミナーⅠ コミュニケーション入門	1 1	
		2	薬学セミナーⅡ ケミカル・バイオハザード学 人体解剖学	1 1 2	
		3	衛生薬学Ⅳ	2	
			毒性学	1	
			癌の生物学	2	
			医薬品情報学	2	
			薬物治療学Ⅰ	2	
	3~4	薬物治療学Ⅱ	2		
		卒業論文基礎実習	2		
	4	漢方処方応用学	1		
	自由	4	臨床医薬品治療学Ⅰ 薬事法規・薬事行政	2 2	
		1	分子構造化学入門 (H25入学者)	1	
		2	病気を知る	2	
3		薬物研究のフロンティア	2		
	薬物投与設計序論	1			
専門教育科目卒業要件単位				合計	106

【創薬科学科 平成23年度以前入学者】

1. 進級要件

創薬科学科では、2年次から3年次及び3年次から4年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。ただし、履修要件を定めていない科目については、留年しなかった場合の該当年次の開講科目を履修することができる。

第3年次への進級(基礎薬学系実習Ⅰ～Ⅲ, 衛生薬学系実習, 医療薬学系実習Ⅰ～Ⅲ 履修要件)

2年次末までに、教養教育科目を26単位以上、専門基礎科目を8単位以上、専門科目のうち選択Ⅰを30単位以上、計64単位以上を修得した者とする。

第4年次への進級(卒業論文実習・応用薬学研究演習 履修要件)

3年次末までに、教養教育科目の卒業要件単位を30単位以上、専門基礎科目を10単位以上、専門科目のうち必修を9単位、選択Ⅰを50単位以上、選択Ⅱを5単位以上、計104単位以上を修得した者とする。

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員もしくは担任教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後5年経過（休学期間を除く）しても、卒業論文実習の履修資格を得られる見込みのない者については、退学を勧告する。

〈平成23年度以前入学者の年次別修得単位基準〉

年次	修得単位
1年次	30単位以上
2年次	上記1に示す創薬科学科第3年次進級要件単位数
3年次	上記1に示す創薬科学科第4年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分		単位数		
教養教育科目		30		
専門教育科目	専門基礎科目	10	108	
	専門科目	必修		21
		選択Ⅰ		58
		選択Ⅱ		19
卒業要件単位		138		

(平成20年度～平成22年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位	
		必修	選択必修			
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2	
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目				
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目				
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目				
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目				
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学				
		スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)			2単位まで	
情報科学	情報処理入門			2単位履修することが望ましい		
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)		4	28	
		英語(ネイティブ)		2		
	英語	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)		2		英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択
		上級英語				
		英語特別演習1				
		英語特別演習2				
	ドイツ語	ドイツ語初級		4		授業科目群から一種類を選択
		ドイツ語中級				
	フランス語	フランス語初級				
		フランス語中級				
	中国語	中国語初級				
		中国語中級				
	韓国語	韓国語初級				
		韓国語中級				
ロシア語	ロシア語初級					
	ロシア語中級					
スペイン語	スペイン語初級					
	スペイン語中級					
イタリア語	イタリア語初級					
	イタリア語中級					
日本語	日本語(A, B, C, D)			留学生用 10単位まで		
計					30	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成23年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位
		必修	選択必修		
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修	
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目			
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目			
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目			
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目			
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2	
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学			
		スポーツ実習 (A,B,C,D,E,F)			2単位まで
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい	
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)		4	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択 授業科目群から一種類を選択 留学生用 10単位まで
		英語(ネイティブ)		2	
	英語	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)		2	
		上級英語			
		英語特別演習1			
		英語特別演習2			
	ドイツ語	ドイツ語初級		4	
		ドイツ語中級			
	フランス語	フランス語初級			
		フランス語中級			
	中国語	中国語初級			
		中国語中級			
	韓国語	韓国語初級			
韓国語中級					
ロシア語	ロシア語初級				
	ロシア語中級				
スペイン語	スペイン語初級				
	スペイン語中級				
イタリア語	イタリア語初級				
	イタリア語中級				
日本語	日本語(A, B, C, D)				
計					30

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

専門科目	選択Ⅱ	1	創薬科学入門	1	19
		2	人体解剖学	2	
			漢方処方学	1	
			コンピュータ化学	2	
			癌の生物学	2	
		2~3	病理学	2	
			内分泌化学	2	
		3	薬品製造工学	2	
			衛生薬学Ⅲ	2	
			薬品分析学Ⅲ	2	
	衛生薬学Ⅳ		2		
	薬事行政		1		
	国際医療保健学		2		
	4	毒性学	1		
		薬物治療学Ⅰ	2		
		医薬品情報学	2		
		臨床医薬品治療学Ⅰ	2		
		細胞療法・診断学	2		
		薬物治療学Ⅱ	2		
		薬学国際交流演習	2		
卒業要件外	1	薬学セミナーⅠ	1		
		コミュニケーション入門	1		
		コミュニケーション入門Ⅰ	1		
		分子構造化学入門	1		
		基礎遺伝学	2		
		医薬品開発序論	1		
		医薬品開発序論Ⅰ	1		
		医薬品開発序論Ⅱ	1		
		有機化学基礎演習Ⅰ	1		
	2	薬学セミナーⅡ	1		
ケミカル・バイオハザード学		1			
有機化学基礎演習Ⅱ		1			
3	病気を知る	2			
	薬学研究のフロンティア	2			
	分子細胞生物学	2			
	薬物投与設計序論	1			
	薬物治療投与設計序論	1			
	コミュニケーション入門Ⅱ	1			
	癌薬物治療学	1			
	バイオインフォマティクス入門	1			
創薬科学英語	2				
卒業論文基礎実習	2				
3~4	漢方処方応用学	1			
4	臨床薬学演習Ⅲ	1			
専門教育科目卒業要件単位				合計	108